

体験授業時間割

Open Campus 2024.9.8

1 限目 11:20 - 12:00

「感染症」について体験的に学習してみよう

大塚 幹太 准教授

保健体育の先生になると「体育」と「保健」の授業を担当します。これからの「保健」の授業では学習内容を体験的に学習しながら仲間と知識を深めていくことが求められます。この授業では小学校や中学校、高等学校で取り扱う「感染症」を例に、体験的な学習を実践しながらその学習効果について考えてみたいと思います。

8号館 3階 8301 教室

救急救命士の魅力と挑戦

～現場のリアル体験を知ろう！～

中澤 真弓 教授

救急救命士ってどんな仕事？どこで活躍しているの？現場でのリアルなエピソードとともに、日体大の救急医療学科の強みや特色、実績を徹底解説します！体験授業と特別プログラムの実技体験で、大学での学びを実感できるチャンス！救急救命士を目指す第一歩を踏み出してみませんか？

8号館 1階 8101 教室

スポーツで稼ぐのは、良いこと？悪いこと？

横田 匡俊 教授

プロスポーツ、スポーツメーカー、フィットネスクラブなど、スポーツに関する様々なビジネスがあります。このようなスポーツビジネスが成功するには、どのような工夫や仕組みが必要なのでしょう？また、スポーツで稼ぐことには、どんな意味があるのでしょうか？一緒に考えてみましょう。

8号館 3階 8306 教室

2 限目 12:30 - 13:10

発育発達論の概要

～子どもの体力を中心に～

津山 薫 教授

体験授業では、私が担当している「発育発達論」の概要を紹介します。発育発達論では「胎児期」から「老年期」における身体の変化を研究データに基づきながら解説しますが、体験授業では特に現在、注目されている「子どもの体力」に着目し、授業を展開します。さらに、私の研究室のゼミ活動についても紹介したいと思います。

8号館 3階 8301 教室

オリンピック・パラリンピックメダルから 紐解くスポーツの意義

亀山 有希 准教授

2024年はパリオリンピック・パラリンピック開催年です。開催期間中は各国のメダル獲得数に注目が集まりがちです。しかしながら、メダルに注目してみると大会ごとのメダルには深い歴史があり、スポーツの意義を知ることができます。そこで、本講ではオリンピック・パラリンピックメダルに焦点をあてながら、スポーツについて考えてみましょう。

8号館 3階 8302 教室

アウトドアアクティビティ ～スラックライン～

※雨天時内容変更あり

高荷 英久 准教授

スポーツライフマネジメント学科にて開講されている「アウトドアアクティビティ」という授業では、安全にアウトドアアクティビティを楽しむにはどのようなことに気をつけなければならないのかを体験を通じて学んでいます。今回は授業内で取り上げている数ある種目の中からスラックラインを取り上げます。スラックラインを上手く渡ることが目的ではなく、安全に楽しむ手法を体験を通じて学びましょう。

8号館 3階 8306 教室

3 限目 13:40 - 14:20

手部に包帯を巻いてみよう：包帯法の実践

松田 康宏 教授

包帯を巻くことは、柔道整復師にとって重要な技術の一つです。その目的は、被覆（患部を覆い保護する）、固定（患部の動きを制限し安定させる）、応急処置（緊急時の対応）などがあります。一見簡単そうに思えますが、実際には高度な技術が必要です。今回の体験授業で実際に包帯を使って体験しましょう。

9号館 2階 9201 教室

異文化間におけるコミュニケーションの課題

梁 凌詩ナンシー 准教授

異文化コミュニケーションは、単に外国語が話せるだけでは解決しない。文化によって、物事に対する態度や考え方には違いが生じる。文化には目に見える側面と見えない側面があり、特にマナーや信念などの見えない要素が人の判断に影響を与える。この授業では、文化と言語の関係を考察し、異文化体験を通じて文化の違いによる違和感を学ぶ。

8号館 3階 8302 教室